

「誇り高きまちに生きる」

指導目標	◎京都市には醍醐近辺以外にどのような歴史的なものがあるのかを調べて見学するコースを考えることができる。
公共交通を教材とする利点	自分たちの住むまちには多くの歴史資産があり、それらの場所に地下鉄とバスで行くことができることに気づくことができる。
対象学年	6年生
対応教科	総合的な学習の時間
標準校時	1コマ
学習構成	<p>1. 醍醐近辺の歴史的な場所や建造物</p> <p>↓</p> <p>・自分たちの住む醍醐近辺の歴史的な場所や建造物を振り返る。</p> <p>2. 京都市で行ってみたい場所のコースを考える</p> <p>↓</p> <p>・京都市で行ってみたい場所を書き出し、その理由をグループで考える。 ・京都公共交通マップをもとに行ってみたい場所を入れたコースを考え、地下鉄とバスで行けることに気づく。</p> <p>3. グループ発表</p> <p>・発表する。</p>

【学習指導案】

小栗栖宮山小学校：「歩くまち・京都」公開実践事業

日時：平成30年2月7日 4校時（11：35～12：20）

場所：6年1組教室

本時の目標：京都市には醍醐近辺以外にどのような歴史的なものがあるのかを調べ見学するコースを考えることができる。

	学習の流れ	指導上の留意点
5分	1. 本時の学習のめあてと活動内容を確認する。 ・醍醐近辺の歴史的な場所や建造物を振り返る。	・本時の目標を伝える。 ・醍醐めぐりや醍醐検定を作ったことをもとに思い出させる。
30分	2. 京都市で行ってみたい場所を書出し、その理由を考えグループで交流する。 3. 行ってみたい場所を入れたコースをグループ毎に考える。	・ただ行ってみたいだけでなく、何故行ってみたいのか理由伝えられるように例を示す。 ・京都公共交通マップをもとに地下鉄とバスで行ける班であることを伝える。
10分	4. グループからの発表	・ミエルモンを使って地図をテレビに映し説明できるようにセッティングしておく。